

氏名 _____

令和5年7月4日実施 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域)
解答用紙

I

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	

II

36		37		38		39		40	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

令和5年7月4日 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域)

- (注意事項) 1 本試験問題については、特段の指示がない限り、令和5年1月1日現在で施行されている法令等に基づくものとする。
- 2 本試験問題中「個人タクシー事業」とあるのは、「一般乗用旅客自動車運送事業(1人1車制個人タクシー)」とする。
- 3 本試験問題中「個人タクシー事業者」とあるのは、「一般乗用旅客自動車運送事業者(1人1車制個人タクシー)」とする。
- 4 本試験問題中「タクシー」とあるのは、タクシー業務適正化特別措置法の問題を除き、「一般乗用旅客自動車運送事業用自動車」とする。

I 次の1から35までの文章で正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- 1 一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が火災を起こしたときは、遅滞なく一定の事項を届け出なければなりません。
- 2 身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)に規定する身体障害者補助犬をタクシー車内に持ち込む旅客に対しては、運送の引受けを拒絶することができます。
- 3 道路運送法の目的には、輸送の安全を確保し、道路運送事業者の利益を保護することが定められています。
- 4 一般乗用旅客自動車運送事業者の氏名若しくは名称又は住所に変更があった場合は手続きが必要ですが、個人タクシー事業者の氏名又は住所に変更があった場合も手続きが必要です。
- 5 個人タクシー事業を廃止しようとするときは、道路運送法に規定する手続きが必要ですが、この際、提出する届出書には「廃止する理由」を記載する必要があります。
- 6 事業報告書は、事業用自動車内に常に携帯しなければなりません。

- 7 タクシーには、非常時に灯光を発することにより他の交通に警告することができ、かつ、安全な運行を妨げないものとして、一定の基準に適合する非常信号用具を備えなければなりません。
- 8 身体障害者割引は、身体障害者福祉法による身体障害者手帳を所持している者に適用するものとし、営業的割引条件にも該当する場合は、いずれか高い率を適用し、割引の重複はできません。
- 9 個人タクシー事業者は、タクシーを運転中に自動車が転覆・転落する事故を引き起こした場合、30日以内に自動車事故報告書を提出しなければなりません。
- 10 「再発防止対策」は、事業用自動車に係る事故が発生した場合に記録しなければならない事項の1つです。
- 11 一般乗用旅客自動車運送事業の事業計画には、少なくとも運賃及び料金の収受について、明確に定めなければなりません。
- 12 個人タクシー事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合、一定の事項を記録し、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において3年間保存しなければなりません。
- 13 個人タクシー事業者が、第二種運転免許に係る運転免許証の有効期限を更新したときには、直ちに個人タクシー事業者乗務証の記載事項の訂正を受けなければなりません。
- 14 道路運送法では、一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業を一般乗用旅客自動車運送事業と規定しています。
- 15 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に応急修理のために必要な器具及び部品を備えなければ、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供してはなりません。運送の途中において当該事業用自動車に故障が発生した場合に、これらの器具及び部品を容易に供給することができるとき、又は旅客の運送を容易に継続することができるときであっても、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供することはできません。

- 1 6 時間距離併用制運賃は、一定速度以下の走行速度になった場合の運送に要した時間を時間制運賃で換算し、距離制メーターに併算します。
- 1 7 個人タクシー事業者は、運行管理を自ら行わなければならないため、運行管理者資格者証の交付を受けなければなりません。
- 1 8 タクシー運転者は、タクシーの故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、列車に対し適切な防護措置をとらなければなりません。
- 1 9 一般乗用旅客自動車運送事業者は、原則として、運送の申込みを受けた順序で旅客の運送を行わなければなりません。
- 2 0 タクシーの点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から6ヶ月間と定められています。
- 2 1 一般乗用旅客自動車運送事業者は、運賃又は料金を収受した場合であって旅客の求めがあったときは、収受した運賃又は料金の額を記載した領収証を発行しなければなりません。
- 2 2 個人タクシー事業者は、旅客の運送中に運行を中断したときは、当該旅客の運送を継続すること等に関して適切な処置をしなければなりません。
- 2 3 旅客自動車運送事業者は、安全、確実かつ迅速に運輸を遂行するように努めなければなりません。
- 2 4 道路運送法に規定されている一般乗用旅客自動車運送事業の事業計画には、自動車車庫の位置及び収容能力についても記載することになっています。
- 2 5 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、個人タクシー事業者が特約に応じたときは、旅客から収受する運賃及び料金の額は、地方運輸局長から認可を受けたものでなくてもよいことが規定されています。
- 2 6 旅客自動車運送事業運輸規則には、事業者間の活発な競争を促進することは、その目的として規定されていません。

- 27 旅客自動車運送事業者は、天災その他の事故により、旅客が死亡し、又は負傷したときは、遺留品を保管しなければなりません。
- 28 自動車点検基準に規定する日常点検基準においては、タクシーの原動機については、走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に点検を行えばよいこととなっています。
- 29 個人タクシー事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を3年間保存しなければなりません。
- 30 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、当該運送約款に定めのない事項については、法令の定めるところ又は一般の慣習によることが規定されています。
- 31 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過していない者は、個人タクシー事業の許可を受けることができません。
- 32 登録自動車の所有者は、当該登録自動車が増失したときには、永久抹消登録の申請をしなければなりません。
- 33 個人タクシー事業者は、標準運送約款以外の運送約款を定めることはできません。
- 34 一般乗用旅客自動車運送事業の運送約款には、運送の引受けに関する事項等を定めることが必要ですが、運送責任の始期及び終期についても定めなければなりません。
- 35 旅客自動車運送事業者は、事業年度の経過後、100日以内に「輸送実績報告書」の提出が義務づけられています。

II 次の条文の36から40までの()内に入る正しい字句を下欄から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(道路運送法)

第十三条 一般旅客自動車運送事業者は(一般貸切旅客自動車運送事業者を除く。次条において同じ。)は次の場合を除いては、運送の引受けを拒絶してはならない。

- 一 省略
- 二 当該運送に適する(36)がないとき。
- 三 当該運送に関し申込者から特別の(37)を求められたとき。
- 四 当該運送が法令の規定又は(38)若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
- 五 天災その他やむを得ない事由による運送上の(39)があるとき。
- 六 前各号に掲げる場合のほか、国土交通省令で定める(40)があるとき。

ア 公の秩序	イ 設備	ウ 要求
エ 正当な事由	オ 支障	カ 制限
キ やむを得ない事由	ク 装置	ケ 公共の福祉
コ 負担		

令和5年7月4日実施 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域) 模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策室にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

なお、実物の解答用紙の様式は用紙がB4サイズ縦で横10マスの4行ですが、A4サイズだと窮屈なので従来通り5マス8行のままにしています。

I

1	○ 運29	2	× 輸13+52	3	× 運1	4	○ 運施66	5	○ 運施25
6	× 報告2	7	○ 保安43-2	8	× 運賃制度	9	○ 事故2+3	10	○ 輸26-2
11	× 運施4	12	○ 輸26-2	13	○ 特施31	14	× 運3	15	× 輸43
16	× 運賃制度	17	× 運23	18	○ 輸50	19	○ 運14	20	× 点検4
21	○ 運10	22	○ 輸18	23	○ 輸2	24	○ 運施4	25	× 約款1+5
26	○ 輸1	27	○ 輸19	28	○ 点検別表	29	× 輸3	30	○ 約款1
31	○ 運7	32	○ 車15	33	× 運11	34	○ 運施12	35	× 報告2

II

36	イ	37	コ	38	ア	39	オ	40	エ
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

- 新型設問はありません。
- 句読点だけの違いは既出扱いです。